

川西市生涯学習アカデミー

2025 下半期
受講生募集

本会場：アステ市民プラザ ライブ配信会場：明峰・北陵公民館



申込み：2025年10月3日(金曜日)まで受け付けます

ご応募お待ちしております

日本の生物多様性の今を知る

10/8 開講 水曜日 10:00~11:30 全8回

講師：兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員の橋本佳延さんほか

院政期説話を学ぼう

『江談抄』『今昔物語集』『発心集』より

10/8 開講 水曜日 14:00~15:30 全8回

講師：大阪府立大学 名誉教授の田中宗博さん

市民環境部 生涯学習課

〒666-0033 川西市栄町 25-1 アステ川西 5 階

電話 072-740-1244

(土・日曜日、祝日を除く 9:00~17:00 受付)



川西市公式ホームページ内、ページ番号検索「1019573」で検索

日本の生物多様性の今を知る

日本の植物や昆虫、植生の実情について紹介し、日本の豊かな生物多様性の姿を深く知ることのできる講座です。生物多様性のうち、特に種（植物、昆虫）の多様性、生態系（植生）の多様性に着目して解説します。また、生物多様性とわたしたちとの関係を紐解き、それを保全する理由についても解説します。近年問題となっている外来生物問題についても解説します。

1	生物多様性とわたしたちの暮らし 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員 橋本 佳延	10月8日(水) 10:00 ~ 11:30
<p>生物多様性は、わたしたちの暮らしに欠かせない様々な恵みの源となる存在です。本講座では、生物多様性の本質的価値や、生物多様性からもたらされるサービス（供給、調整、文化）について解説し、その保全の必要性について考えます。</p>		
2	生物多様性の成り立ち 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 石田 弘明	10月22日(水) 10:00 ~ 11:30
<p>生物が地球に誕生したのは今から約40億年前といわれています。その後、生物はどのような歴史を経て進化し、多様化したのでしょうか。本講座では、このような歴史の概要を紹介したいと思います。</p>		
3	森林の多様性 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 石田 弘明	11月5日(水) 10:00 ~ 11:30
<p>森林国である日本には様々なタイプの森林が分布しています。森林は日本の生物多様性を支える大変重要な存在です。本講座では、日本を代表する主な森林をとりあげて、その特徴や成立要因などを紹介したいと思います。</p>		
4	草原の多様性 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 石田 弘明	11月19日(水) 10:00 ~ 11:30
<p>森林と同様に草原にも様々なタイプが存在します。その中には、数百年にわたる人間活動によって維持されてきた半自然草原も含まれています。本講座では、このような草原の特徴や成立要因などを紹介したいと思います。</p>		

5	海岸の植物・植生の多様性 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授 黒田 有寿茂	12月3日(水) 10:00 ~ 11:30
<p>海岸には砂浜、砂丘、海崖、塩性湿地など、多様な環境がみられます。そこには海岸特有の環境に適応した植物が生育し、内陸ではみられない独特の植生を形成しています。こうした海岸植物・海岸植生の多様性について解説します。</p>		
6	里山の自然を守るとはということか 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授 黒田 有寿茂	12月24日(水) 10:00 ~ 11:30
<p>丘陵地に広がる里山には様々な植物が生育しています。その自然を守るといったことはどのような意味・意義をもっているのでしょうか。植物相の特徴、植生の変遷、生きものつながり、生態系の機能といった視点から考えます。</p>		
7	身近にせまる外来植物の問題 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員 橋本 佳延	1月14日(水) 10:00 ~ 11:30
<p>市街地や河川、里山に分布する身近な外来植物を紹介するとともに、外来植物の侵入の経路や、日本の生物多様性を脅かす侵略性の高い外来植物の事例について講義します。また外来植物の侵入・定着を予防するための、日本の在来植物（地域性種）による緑化について紹介します。</p>		
8	昆虫の多様性とその役割 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授 山田 量崇	1月28日(水) 10:00 ~ 11:30
<p>地球上で最大の種数を誇る昆虫類について、形態、分類、生態などの基礎的な内容から、寄生や擬態、社会性といった特徴的な事象まで紹介するとともに、益虫や害虫、希少種や外来種などの視点で人間との関わりについて講義します。</p>		

院政期説話を学ぶ—『江談抄』『今昔物語集』『発心集』より

平安末院政期から鎌倉時代にかけて、説話・説話集は時代を表現するメディアとして、文学史上重要な地位を占めました。説話は時に説話集の形をとって集積され、ひとつの作品ともなる一方、さまざまなジャンルの書物に記録され、基層文学としての役割を果たしました。この講座では、大江匡房の談話録『江談抄』と、編者未詳の説話集『今昔物語集』、そして鴨長明編と伝わる『発心集』から、幾つかの説話を採り上げてテキストを読み、広く他資料も援用しつつ講述を行います。あわせて、絵巻物との関連や、民俗・昔話との関わり、さらには時代状況や宗教との関係についてもお話しします。

1	大江匡房『江談抄』と『伴大納言絵』 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	10月8日(水) 14:00～15:30
<p>百人一首「高砂の尾上の桜…」でも知られる大江匡房(1041-1111)は、院政期を代表する学者です。彼の談話は藤原実兼らに記録され、『江談抄』となりました。同書には、匡房の伝える幾つもの説話が載るのですが、その中から応天門の変(866)に及ぶ伴善男(811-868)の説話を読みます。あわせて国宝『伴大納言絵』や、『宇治拾遺物語』との関係についても講じます。</p>		
2	大江匡房『江談抄』と『吉備大臣入唐絵』 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	10月22日(水) 14:00～15:30
<p>『江談抄』には、奈良時代の公卿吉備真備(695-775)の伝承が記録されています。この真備は、遣唐留学生として唐にあった時、才能を妬まれて迫害を受けたというのですが、阿倍仲麻呂(698-770)の霊の援助もあり危地を脱して帰国し、多くの文物を伝えたというのです。この話は『吉備大臣入唐絵』となるのですが、この絵巻との関係や語り手匡房の意識についても考えたいと思います。</p>		
3	大江匡房『狐媚記』を読む 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	11月5日(水) 14:00～15:30
<p>当代一級の漢学者であった大江匡房は、『洛陽田楽記』『傀儡子記』『遊女記』等、比較的短文の漢文作品も遺しているのですが、その一篇『狐媚記』を読み解きます。これは、京中に出没する狐が人を化かしたという話を集めたもので、昔話で聞いたような話型のものも多く、当代人士の動物観を窺う資料としても興味深い資料と言えます。あわせて文人貴族が〈怪〉を語る志向についても考えます。</p>		
4	『今昔物語集』巻27より狐説話を読む 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	11月19日(水) 14:00～15:30
<p>匡房死後の12世紀前半に著された『今昔物語集』は、1000を超す説話を類集する一大説話集ですが、その巻27「本朝付靈異」篇には45話の怪異譚が集められています。そのうち第37～41話は狐の怪異を伝えるもので、それらを通観しつつ第41話を対象に読解を試みます。一度は人を化かしおおせても、人智に負け圧伏される狐の話柄について、民俗・昔話との関係を視野に考察しようと思います。</p>		

5

『今昔物語集』巻23より橘則光説話を読む

大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博

12月3日(水)

14:00 ~ 15:30

狐が暗躍すると考えられた平安京の闇は、暴力・犯罪の横行する世界でもありました。『今昔』巻23は武勇・強力関連説話を載せるのですが、第15話は橘則光なる人物が、夜盗の集団を斬り伏せたという話です。実は橘則光はかの清少納言の夫でもあり、『枕草子』では和歌を介さない朴念仁として、やや否定的に描かれています。そんな人物が、平安京の闇の中で生き生きと活躍する話が、本書に採録されたことの意義を考えます。

6

『今昔物語集』巻19より源太夫説話を読む

大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博

12月17日(水)

14:00 ~ 15:30

『今昔物語集』は、前代王朝文学が関心を持たなかった世界に目を向けることでも注目される作品です。その中には、地方在住の名も無き悪人の行状に目を凝らしたのも少なくありません。とりわけ巻19第14話は、芥川龍之介「往生絵巻」の典拠ともなった、讃岐国住人源太夫の激烈な発心と往生を描く、印象鮮明な説話です。この話を精読しつつ、無名人を主人公に据える仏教説話の本意についても考察します。

7

『発心集』より玄賓僧都説話を読む

大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博

1月14日(水)

14:00 ~ 15:30

鴨長明(1155?-1216)編『発心集』は、当代を代表する仏教説話集と言えます。隠棲・閑居した長明らしく、大寺院を離れた遁世僧への敬意が顕著ですが、中でも3つの話が載る僧玄賓(734-811)への追慕の念は顕著なものがあります。今回は素性を隠した玄賓が、伊賀国郡司の窮地を救った説話を 읽みます。あわせて、旅する貴人が人々の難儀を救う話が好まれる事実について、水戸黄門(!)の人気もあわせて考えます。

8

『発心集』より隠徳・偽悪説話を読む

大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博

1月28日(水)

14:00 ~ 15:30

『発心集』第11話は、老齡の「高野の辺の上人」が、弟子に妻女の斡旋を求めることから始まります。弟子は「我が師も墮落・破戒か」と思うのですが、実は静かな信仰生活を得るための方便でした。その真相=上人の死(往生)は、信仰生活を共にした「妻」のみが知り得たのです。この「妻」との深い相互理解が、弟子との関係性と対比的に描かれる点が注意されますが、丁寧な叙述をとる本話の意義を、当代信仰状況と併せて考えます。

募集要項 令和7(2025)年度生涯学習アカデミー

コース・講座名		開講	会場(受講方式)	定員
A	宇宙地球科学への誘い	受付を終了しました		
B	「怪異」から「妖怪」へ ～怪異学入門～			
C	日本の生物多様性の今を知る	10/8(水) 10:00	アステ市民プラザ【対面】 明峰公民館【ライブ配信】	70名 20名
D	院政期説話を学ぶ －『江談抄』『今昔物語集』『発心集』より	10/8(水) 14:00	北陵公民館【ライブ配信】	22名

受講料 対面8,000円、ライブ配信4,000円

◆同意事項 対面講座を受講すると次年度はライブ配信のみ申込みできます

- ・ライブ配信は通信状態によって、音声や映像が途切れることがあります。
- ・対象は中学生を除く15歳以上の川西市在住の人。
- ・対面は1コースのみ、ライブ配信は複数申込みできます。
- ・令和6(2024)年度生涯学習アカデミーを対面で受講した人は、今回アステ市民プラザ【対面】の申込みができません。

申込み 10月3日(金曜日) 必着まで

二次元コードから

申込みフォーム、または、

郵送

申込書にて



申込みフォーム

▶ 先着順で受付けます。

【申込書の提出先】

市民環境部 生涯学習課

〒666-0033 川西市栄町 25-1 アステ川西 5 階

(土・日曜日、祝日を除く 9:00～17:00 受付)

受講修了に際して、本文400字程度のレポート提出が必要です。

◆その他

- ・講師の職名は、令和7(2025)年3月現在の情報です。
- ・受講当日の受付は各講座開始30分前から行います。
- ・受講料は講座の初回に各館で集金します。
- ・講座の録音、録画、撮影は固く禁じます。また、資料の複写、転用は認められません。
- ・生涯学習課が講座中に撮影した写真は、市の広報などで使用することがあります。
- ・配信不良など主催側の事情で講座を実施できなかった回は、後日返金します。

(対面1回1,000円、ライブ配信1回500円)

◆講座日の変更について

- ・気象警報が発表された時、アステ市民プラザに避難所が開設された時など、諸事情により講座を中止したり日程を変更したりすることがあります。
- ・川西市に気象警報・特別警報発表中の場合、実施しません。講座の2時間前に各自テレビなどで情報確認をお願いします。

(1) 午前8時の時点で気象警報が発表中の場合、午前の講座は中止します。

(2) 午後12時の時点で気象警報が発表中の場合、午後の講座は中止します。

川西市生涯学習アカデミー

生涯学習のきっかけづくりとして、大学の講座のような専門的な内容を1コース8回程度で実施します。

生涯学習とは、全ての世代が楽しく学ぶこと、スポーツを通して健康促進すること、芸術を通して心の豊かさを育むこと、市の文化を継承していくことなど、これら全てを指します。

会 場

アステ市民プラザ 【対面講座】

阪急電鉄「川西能勢口駅」徒歩3分（アステ川西6階）

明峰公民館 【ライブ配信講座】

阪急バス「明峰小学校前」下車 徒歩約3分

北陵公民館 【ライブ配信講座】

能勢電鉄「日生中央駅」下車 東へ徒歩約8分

